

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	生活介護事業所 あいの		
○保護者評価実施期間	R8年 3月 1日		～ R8年 4月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 29名	(回答者数)	20名
○従業者評価実施期間	R8年 3月 1日		～ R8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 4月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性を活かし、看護、保育、セラピストと連携を図り支援を実施している。またその場で情報を共有することにより、伝達漏れなどがないようにしている。	情報を共有した後、どのように工夫ができるかの検討を行っている。	広報などを通じ、利用されるご家族の方にも普段どのように過ごしているかなどの情報共有をしていく。
2	季節に応じた活動内容を取り入れ、安全に過ごすことができるよう取り組んでいる。	職員とどのように取り組んだのかをご家族との連絡帳に残すとともに、本人たちが積極的に取り組めるよう支援のし方を工夫している。	より多くの経験ができるよう、ご家族の意見なども参考にしていく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援における知識のばらつきがあるため、専門性に頼りすぎるところがある。	職員の学ぶ意欲が向上する機会の有無	研修や勉強会を通じ、支援に関わる職員がしっかりと知識や技術を習得することができるよう取り組んでいく。
2	保護者と交流する機会が少ない	イベントなどの開かれた機会を持つことが少ない	障害部門全体で利用者の方やご家族の参加できるイベントを企画していく
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 生活介護事業所 あいの

公表日 令和8年 5月 7日

利用児童数 29名

回収数 20

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	1		1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17			3		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	2		2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	18	1		1		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	1		4		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	1		1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	1		3		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17			3		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19			1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	2	6	9		
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	2		2		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	2	4	6		
	15	白旗からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができてきていると思いますか。	20					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助産等の支援が行われていますか。	10	5	3	2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	4	6	6		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	2		1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	2		1		

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	2	1	10		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	2		2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12			8		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11			9		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1		6		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18			2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20					
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	1				

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 8年 5月 7日			
生活介護事業所 あいの					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	改装したことにより、利用人数が少ない時と多い時とで部屋を使い分けている	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	3	2		人員配置としては基準以上であるがケアの多い利用児がいると人手不足を感じてしまう為、職員のスキルアップを図っていく
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務 改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	1	4		一部の職員が把握をしているため、今後は全職員への落とし込みをしっかりと行っていく
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	日頃からコミュニケーションをしっかりと取るとともに伝達の漏れを防ぐようにしている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		希望する研修に参加するとともに、参加後はフィードバックを行っている	
適切 な 支 援 の 提 案	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		必要に応じ都度見直しを行い検討をしている	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	2		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	3		活動内容の振り返りをしっかりと行い、楽しめるものを検討していく
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	3		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	3		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	あいの放課後等デイサービス 茨木		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～ 令和8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～ 令和8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 31日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが安心して安全に過ごせる環境の整備	パーテーションなどを用いて、空間を区切り、安全に過ごせるように環境を整えている。 テーブルや棚には、クッション材を用いて、安全性を高めている。 子どもたちの特性や、活動に合わせて、テーブルの配置を変え、空間を広く使っている。	床がフローリングで滑りやすいことを考慮し、マットを一面に敷くなどして安全性をより高めることを検討する。
2	子ども一人一人に合った支援の提供	子ども一人一人の特性や、成長段階に合わせて、活動や取り組みの内容を考えている。 日々のミーティングなどを通して、スタッフ間での共通認識とし、支援の方向性を事業所全体で定めている。	支援の取り組みについてのフィードバックをより密に行うことで、支援の質の向上を目指す。
3	保護者様との情報共有体制の整備	モニタリングだけでなく、送迎時や連絡ノート、電話での連絡などを通して、その都度子どもたちの様子、状態、変化などの情報を共有し、支援に活かす体制を整えている。 日頃から保護者様との丁寧なやり取りを心がけ、信頼関係の構築に努めている。	知り得た情報は、個人ファイルなどにまとめておくこと事業所全体での共通認識となるため、積極的に活用していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ホームページやSNSの発信ができていない	事業所専門のSNSアカウントを持っておらず、発信する機会がない。	Instagramなど、事業所専用のアカウント開設を検討する。
2	研修会などの保護者様の認知度が少ない	研修会などのチラシを配布しているが、お仕事をされている保護者様も多く、参加できないことが多い。	チラシだけでなく、口頭で伝えるなどして、より分かりやすく研修の存在、内容を伝え、保護者様に興味を持ってもらう。 土曜日など、平日以外の日程での開催も検討する。
3	保護者様同士の交流機会が少ない	保護者様が集まる機会を提供できておらず、交流する場がない。	参観などの機会を設け、保護者様同士が集まる場を提供する。

	公表	保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果
--	----	-------------------------

事業所名 あいの放課後等デイサービス 茨木
-----------------------

公表日 令和8年 5月 7日

利用児童数 9名

回収数 8名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	1	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8	0	0	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	0	0	0		
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	1	0	1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	0	0	1		
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	2	0	0	6		
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	1	0	4		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	8	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	0	0	1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	1	5	参観みたいなものがあれば見に行きたい	
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	0	0	3		
20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	0	0	0			

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1	1	0	6	SNSで様子など発信してもらえるとありがたいです	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	0	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	0	0	0		

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年 5月 7日			
あいの放課後等デイサービス 茨木					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	3		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	電話や送迎時、あつた時に対応している	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	4		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0		
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	保護者からしっかり聞き取りをして対応している	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2		
50		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2		
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0			

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	あいの放課後等デイサービス 茨木		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～ 令和8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38名	(回答者数) 31名
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～ 令和8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 31日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	新しい活動の提供	子どもたちが楽しく通えるように、日々の活動に変化を持たせ、常に新鮮な活動を提供できるように、スタッフ間でのアイデアの共有やリサーチを徹底している。	活動のフィードバックをより密に行うことで、子どもたちに合った活動へとブラッシュアップしていく。
2	子ども一人一人の特性に合わせた環境の整備	写真やイラストを用いたスケジュールの提示や、タイマーを使っての時間設定、パーティションを使って空間を区切るなどして、子どもたち一人一人の特性に合わせ、かつ、みんなにとって分かりやすく過ごしやすいユニバーサルな環境づくりに配慮している。	子どもたちの様子をよく観察し、より分かりやすくなるように必要な絵カードや工夫をスタッフや保護者様と検討し合い、常にブラッシュアップを意識する。
3	保護者様との情報共有体制の整備	モニタリングだけでなく、送迎時や連絡ノート、電話での連絡などを通して、その都度子どもたちの様子、状態、変化などの情報を共有し、支援に活かす体制を整えている。日頃から保護者様との丁寧なやり取りを心がけ、信頼関係の構築に努めている。	知り得た情報は、個人ファイルなどにまとめておくこと事業所全体での共通認識となるため、積極的に活用していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士の交流機会が少ない	保護者様が集まる機会を提供できておらず、交流する場がない。	参観などの機会を設け、保護者様同士が集まる場を提供する。
2	児童クラブや地域の子どもの交流の機会が少ない	子どもたちの特性や、見守りをするスタッフが不足している状況を見ると、トラブルにつながる可能性を考慮し、なかなか積極的に交流を図れていない。	地域の小学校や児童クラブに問い合わせ、事業所へ招待するなどの工夫をしながら交流の場が設けられないか検討する。
3	ホームページやSNSの発信ができていない	事業所専用のSNSアカウントを持っておらず、発信する機会がない。	インスタグラムなど、事業所専用のアカウント開設を検討する。

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表日 令和8年 5月 7日

利用児童数 36

回収数 31

事業所名 あいの放課後等デイサービス 茨木

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28	1	0	2		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	24	0	0	7	客観的に見て人手不足な印象は受けます	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	3	0	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29	0	0	2		
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30	1	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27	1	0	3		
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30	1	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	2	0	4		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	12	3	3	13	長期休みの時など、可能な限り交流していると思う	
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	1	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	4	2	7	研修会など参加させていただき、とても分かりやすい内容でした	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	30	0	0	1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	2	0	0	モニタリングなどの支援が相互理解につながっています	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	2	0	1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	9	4	6	12	保護者会などの開催などは、私たち保護者が忙しく、交流ができていない 参観みたいなものがあれば見に行きたい	
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	28	2	0	1		
20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	1	0	0			

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	4	3	10	SNSなどで様子を発信してもらいたい	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28	0	0	3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28	0	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27	1	1	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29	2	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28	1	0	2	トラブルが起こったことがない	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	30	0	0	1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	31	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	31	0	0	0		

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年 5月 7日			
あいの放課後等デイサービス 茨木					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	少しせまく感じるときもあるが、テーブルの配置などを工夫して広く使っている	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	ホワイトボードに予定を貼りだすなど、視覚支援の観点で工夫している	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3	パーティションで区切る	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	ミーティングなどを通して、共有、共通理解としている	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	活動、課題、おやつなど、様々な面で自己選択の機会を設けている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	モニタリングなどで聞いている	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0			
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	4		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0			

公表	児童発達支援事業所における自己評価総括表
----	----------------------

○事業所名	あいの放課後等デイサービス あい			
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～	令和8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～	令和8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 31日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちの特性に応じた専門性のある支援	保育士の視点、児童指導員の視点など様々な視点で支援内容を考案。子どもの特性を知り、理解を深める。	職員の専門的分野の知識を高める為、積極的に研修会に参加する。
2	保護者と職員で子どもの健康や発達の状態についての共通理解ができています。	日々の連絡帳や送迎時にその日の様子や出来事、気になる点などお伝えしている。定期的にモニタリングや電話での聞き取りを行っている。	子どもへの理解を深める為、支援会議の頻度を増やし、職員全員が保護者との共通理解ができるようにする。
3	安心感を持って通所できる環境	興味や意識が向くような支援教材や視覚支援の掲示。リラックスできるような室内のレイアウトを考案。	圧迫感のないよう、空間設定をその都度見直しする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所やこども園との交流がない	利用時間と保育所やこども園の活動時間の違いから、調整が難しい。	情報収集と、地域の方とのやり取りの機会を作る。
2	父母の会など、保護者同士の交流の機会がない。	保護者同士の交流を必要とされていない方もおり、実際に話を進められていない。	保護者へ父母の会についてアンケートを取るなど行う。
3	家族に対する支援プログラムの設定と家族等が参加できる研修会の機会が作れていない	保護者を交えた研修会の機会がまだ多くとれていない。	保護者への聞き取りやアンケートを実施し、受けたい研修内容について調査を行う。

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 あいの放課後等デイサービス あい

公表日 令和6年 5月 7日

利用児童数 1

回収数 1

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1					
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1					
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。				1	まだ始まったばかりでわからない。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。				1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。				1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。				1		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。				1		
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。				1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。				1		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	1					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助産等の支援が行われていますか。				1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。				1		
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					
20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1						

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。				1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1					
	29	事業所の支援に満足していますか。	1				スタッフがすてきでここにめぐりあえて良かったと感じている。	

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年 5月 7日			
あいの放課後等デイサービス あい					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか、また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1		
業務 改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	2		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			
適切な 支援の 提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			・個別活動については改善が必要だと感じている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1		・振り返りが重要だとわかっているが、日々の業務に追われてできない時もある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	5		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6				

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6				

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	あいの放課後等デイサービス あい		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～ 令和8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～ 令和8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが安心できる環境設定。 生活空間を清潔に保ち、心地よく過ごせる室内。 障がい特性に応じて環境上の配慮を行っている。	子どもの様子、状況に応じて室内の環境設定と職員の配置を考慮している。 タイムスケジュールや視覚での情報(イラスト等)でわかりやすく安心できる空間作りを行っている。	環境設定の追求。 子どもの成長と共に支援内容の変更がある為、その都度生活空間や環境設定の見直しを行う。
2	保護者様との共通理解 情報共有	モニタリング以外にも相談や情報共有を日頃から行うようにしている。 デイ、学校等の様々な場所での活動や様子を送迎時にスタッフが保護者伝えるようにしている。	進路等の相談も多くある為、情報収集を行う。
3	緊急時対応マニュアルの設定 非常災害時に備えた避難訓練の実施 感染対策等安全の確保	月に一度の避難訓練を実施している。 地震、火災、不審者の避難訓練を行い、職員でその都度見直しを行っている。	消防署や警察署へ避難時の正しい対応について情報収集を行う。 避難時や感染対策等の新しい情報を常にリサーチする。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童館など地域の子どもの交流がない	児童館や学童等に情報をオープンにしていない。 地域の子どもたちとのトラブル等を予測してしまい、積極的な交流活動を行えていない。	地域で行われているイベントなど情報収集を行い参加を検討する。
2	家族に対する支援プログラムの設定と家族等が参加できる研修会の機会が作れていない	保護者を交えた研修会の機会がまだ多くとれていない。	保護者への聞き取りやアンケートを実施し、受けたい研修内容について調査を行う。
3	ホームページ、SNS等の情報発信がない	藍野福祉会としてのホームページは存在するが、事業所としてのホームページを開設していない。 SNSをうまく使えていない。	インスタグラムやLINE等の情報発信を検討する。

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 あいの放課後等デイサービス あい

公表日 令和8年 5月 7日

利用児童数 33

回収数 22

	チェック項目	回答状況				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	4	1	1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	0	0	3		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	0	0	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	1	0	2		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	1	0	1	思っている以上に子どもの心の内も汲み取ってくれている。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	0	0	3		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	1	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	0	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	0	0	2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	0	0	3		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2	3	12		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	0	0	1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	0	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	2	6	9		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	21	1	0	0		
保護者 への 説明 等	16 定期的に、面談や子育てに関する助産等の支援が行われていますか。	21	0	1	0	こちらが忙しい時、会えない時は連絡帳等で細かく様子を知らせてくれる。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	3	9	7	保護者会などはないが、親の就労ができるよう協力していただき、とても助かっている。	
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	1	0	3		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	1	0	0		

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	3	1	9	SNSやホームページを見ないのでわからない。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	1	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	0	0	3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	1	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	0	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	1	0	1	集団活動が苦手な為、通う事への不安と皆と楽しみたい気持ちが半分。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	1	0	0		

## 公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	あいの放課後等デイサービス あい		公表日		令和8年 5月 7日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」ののらう及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		・個別活動については改善が必要だと感じている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1		・心がけているが、業務におわれできない時もある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	5	1		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	あいの放課後等デイサービスねやがわ		
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育スペースの広さと見守りやすさ	常設の物を減らし、必要な時に必要なだけ出すようにしている。遊具物がない為、全スタッフが全体を見渡すことが出来る。	より過ごしやすい空間へレイアウト変更や設置物の考案、実施を行っていく。
2	安心して通える	支援するスタッフが直接送迎を行い、日々の様子を顔の見える形で直接伝えていく。 日々の様子や次の月の活動を毎月配信。 メインフロアは広く見渡し易い為、何かあれば複数のスタッフの目があるため、状況把握や対応がスムーズに行える。 個室を2部屋用意しており、いつでも使うことが出来る。	個室をより落ち着くことのできる空間にする。 日々の様子をよりわかりやすく配信する。 公式ラインを開設。
3	様々なニーズに対応できる。	経験豊富なスタッフが多く、広いスペースで室内でも動きのある活動が出来たり、2部屋の個室でリラックス、気持ちを切り替えることが出来る。	職員の追加採用、さらなるスキルアップの為の研修の実施。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の健全児との関わりが少ない。	地域の行事が基本日曜日に行われる為、参加しにくい。 公園等で関わりを持つこともリスクが大きく、現実的ではない。	地域の行事の情報収集、主催者とのパイプ作り。 事業所主体のイベント開催の検討。
2	父母の会、保護者会が開かれていない。	必要性を感じている保護者の声が無い。	意見の吸い上げを常に行い、声が上がった際には開催できるように準備しておく。
3	家族の方も参加できる研修会や情報提供の機会が少ない。	法人で家族の参加出来る研修会を開催したが、遠方の為参加が難しい。	研修会の継続。 送迎車を手配し、参加しやすくする。 職員の受けた研修の資料を出来る範囲で家族の方へも情報共有を行う。

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 8年 5月 7日			
あいの放課後等デイサービスねやかわ					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		メインフロアに物を常設せず、広く使えるようにしている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数等は適切であるか。	4			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		玄関、トイレにバリアフリー設備有。 トイレや個室等に視覚表示有。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		メインフロアに物を常設せず、広く使えるようにしている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		個室2部屋有。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1	朝礼で行っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		朝礼、適宜面談を行っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		法人内で定期的に関催されている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		児童共有事項を適宜更新し、いつでも見る事の出来るように表を作成して置いている。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		職員の個々のアイデアが活かされている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4			個別活動をもう少し充実させたい。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			朝礼内容の共有、その日の送迎や活動の内容や担当について毎回確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	3		終了後には立ち話程度で、次の日の朝礼で共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1		個別の連絡帳以外にも各種記録を取っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	2			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	3			要望があれば情報共有を行う。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4				研修が開かれた際には必ず参加し、児童の状況についても適宜相談報告を行っている。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4			地域の行事に参加していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4				
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3		研修を開催しているが法人での開催の為、遠方での開催になっている。送迎車の検核を行っている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4				
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4				
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4				

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4		保護者様の要望に応じて適宜開催検討を行う。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	1	毎月お便りを発行しているので保護者の方も予定が立てやすいと思う。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3		事業所の行事への招待は難しい為、地域の行事に参加していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		現在身体拘束を行うケースを持っていない。		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 あいの放課後等デイサービスねやがわ

公表日 令和 8年 5月 7日

利用児童数 1

回収数 1

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。				1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。				1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。				1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。				1		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。			1		地域の行事に参加していく。	
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。			1		定期的に研修を開催していく。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			1		保護者様の要望に応じて速宜開催検討を行う。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1						

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。			1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の実況等について説明がされていると思いますか。			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	1				

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	あいの放課後等デイサービスなやがわ		
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 21
○従業員評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月27日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育スペースの広さと見守りやすさ	常設の物を減らし、必要な時に必要なだけ出すようにしている。遮断物がない為、全スタッフが全体を見渡すことが出来る。	より過ごしやすい空間へレイアウト変更や設置物の考案、実施を行っていく。
2	安心して通える	支援するスタッフが直接送迎を行い、日々の様子を顔の見える形で直接伝えている。 様子や次の月の活動を毎月配帳。 メインフロアは広く見渡しも良い為、何かあれば複数のスタッフの目があるため、状況把握や対応がスムーズに行える。 個室を2部屋用意しており、いつでも使うことが出来る。	個室をより落ち着くことのできる空間にする。 日々の様子をよりわかりやすく配信する。 公式ラインを開設。
3	様々なニーズに対応できる。	経験豊富なスタッフが多く、広いスペースで室内でも動きのある活動が出来たり、2部屋の個室でリラックス、気持ちを切り替えることが出来る。	職員の追加採用、さらなるスキルアップの為の研修の実施。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の健全児との関わりが少ない。	地域の行事が基本日曜日に行われる為、参加しにくい。 公園等で関わりを持つこともリスクが大きく、現実的ではない。	地域の行事の情報収集、主催者とのパイプ作り。 事業所主体のイベント開催の検討。
2	父母の会、保護者会が開かれていない。	必要性を感じている保護者の声が無い。	意見の吸い上げを常に行い、声が上がった際には開催できるように準備しておく。
3	家族の方も参加できる研修会や情報提供の機会が少ない。	法人で家族の参加出来る研修会を開催したが、遠方の為参加が難しい。	研修会の継続。 送迎車を手配し、参加しやすくする。 職員の受けた研修の資料を出来る範囲で家族の方へも情報共有を行う。

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 8年 5月 7日			
あいの放課後等デイサービスねがわ					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		メインフロアには極力物を置かず、スペースを広く確保している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		玄関、トイレにバリアフリー設備、トイレや個室にも視覚表示有。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		個室2部屋有。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	3	1	朝礼で行っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		朝礼、適宜面談を行っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		法人内で定期的に研修を行っている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		児童共有事項を適宜更新し、いつでも見られるように表を作成して置いている。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		職員の個々のアイデアが活かされている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			個別活動をもう少し充実させたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			朝礼内容の共有、その日の送迎や活動の担当について毎回説明している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	3		終了後には立ち話程度で、次の日の朝礼で共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1		個別の連絡帳以外にも各種記録を残している。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			製作や集団活動にも選択できるよう工夫している。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4			研修が開かれた際には必ず参加し、児童の状況も適宜相談報告している。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		地域の行事等に参加検討。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1		寝屋川市障がい児通所サービス連絡会 寝屋川市自立支援協議会地域活動支援部会に参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4			送迎を支援者が行い、毎回様子を直接話している。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2		研修を開催しているが法人での開催の為、少し遠方になってしまっている。送迎車の検討など行う予定。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4		現在保護者様の要望が無い、開催しても参加したくない方が多い為、様子を伺いながら進めていく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	1	毎月お便りを発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		事業所の行事に招待することは難しい為、地域の行事等に積極的に参加していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		毎月1回災害、担当職員、曜日を変えて行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2			現在身体拘束を検討するケースは持っていない。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 あいの放課後等デイサービスなやがわ

公表日 令和 8年 5月 7日

利用児童数 32

回収数 21

	チェック項目	回答数				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	1	0	2	事業所に伺った事がない為 (noanswer)	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	0	0	4	事業所に伺った事がない為 (noanswer) 職員の顔写真・名前がかいてあるプリントを保護者にも欲しいです。	変更時にお便りに掲載する。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	0	0	3	事業所に伺った事がない為 (noanswer)	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	0	0	2	事業所に伺った事がない為 (noanswer)	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1	0	1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	0	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	21	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	1	0	2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	1	0	2		
保護者 への 説明等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	4	3	11		地域の行事等に参加していく。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	0	0	1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	1	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	4	7	8		定期的な研修を開催していく。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	20	1	0	0	Lineでやり取りをできるようにしてほしい	公式ラインの作成、案内。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助産等の支援が行われていますか。	19	0	1	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	1	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2	12	5	※未回答1件	保護者様の要望に応じて速直開催検討を行う。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	0	0	3	※未回答1件	
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	0	0	1	※未回答1件	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	2	0	3	※未回答1件	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思えますか。	19	0	0	1	※未回答1件	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	0	0	2	※未回答1件	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	0	0	3	※未回答1件	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	17	0	0	3	※未回答1件	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	17	0	0	3	※未回答1件	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	0	0	0	※未回答1件	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	0	0	0	※未回答1件	
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	1	0	0	※未回答1件 祝日も仕事なので開所して欲しい	

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター 藍野療育園		
○保護者評価実施期間	令和8年3月16日	～	令和8年4月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 61名	(回答者数)	37名
○従業者評価実施期間	令和8年3月10日	～	令和8年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 3名	(回答者数)	3名
○訪問先施設評価実施期間	令和8年2月24日	～	令和8年3月16日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数) 36か所	(回答者数)	27か所
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月30日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・訪問員については、保育士やOTやSTが在籍しているため、それぞれ困りごとの内容に応じて対応している。	・訪問員が確認してきた内容を訪問職員だけでなく、センターの職員とも共有し、新たな支援内容を検討する等工夫している。	・それぞれの困りごとの内容に合わせて専門性を活かして取り組んでいきたい。
2	・経験のある職員が訪問員を実施しているため、訪問時に具体的なアドバイスが可能である。	・子どもの適応行動の状況をアセスメントする際に、他の職種と共有し、こどもの支援方法を考えるようにしている。 ・所属先での生活をイメージしながら助言するように意識している。	・経験のある職員だけでなく、多くの職員が訪問支援に携わることができるよう人材育成に力を入れていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・子ども一人当たりに対して十分な訪問回数を確保することができていない。 ・困りごとに対して専門性の高い職員を直接配置することはできていない。	・保育所等訪問支援を希望する利用者が年々増加している。訪問支援の目的と運用方法を再度検討していく必要がある。 ・困りごとの内容によって専門職の配置をしているが、十分でない部分もある。	・子どもの困りごとなどから支援の内容だけでなく、訪問の頻度や期間なども見直していく必要がある。 ・訪問の職員については、専門性だけでなくより幅広い知識をもち、支援をしていく必要があるため、人材育成に力を入れていきたい。
2	・訪問先での内容について保護者と十分に共有できていない状況がある	・訪問支援を実施するにあたり、訪問先との日程調整の連絡や内容の共有、訪問に向けての他職員との連携、訪問後の報告、訪問前後に保護者との連絡、面談など業務が多い状況。その中でも、日程調整や面談日の調整など何度もやりとりが必要なものも多々みられる。	・訪問員の業務内容の見直し、分担を検討する必要がある。電話等の連絡だけでなく、メールなども使っていき、日程連絡等、簡単なやりとりは効率化できるよう工夫していく。そうすることで、支援の内容の伝達など重要な部分に時間をとれるようにしていく。支援内容を学校と保護者を共有できるようにしっかりと時間を作るようにしていく。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センター 藍野療育園

公表日 令和8年 5月 7日

利用児童数

61名

回収数

37名

	チェック項目	利用児童数				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。	14	4		18	・別がないと思う	
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	30			6		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	35	1		1		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	29	4	2	2	・いつも事前に相談がありましたが、今回は事後報告でした。 ・急な訪問願ひにも来てくださったことがあり、ありがたかったです。 ・相談はされたがもう少し頻度が多いともっとありがたいです。	日程及び相談内容を事前に確認が十分にできていないことがありましたので、今後は支援の前にご相談していくようにしていきます。
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	27	2	2	6		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	35	1			・色々提案して下さい嬉しいです。	
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32	2	1	1		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	25	2	1	9		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24			13		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29	5		3	・食事に対してみてもらいたかったが、時間やメニューによって支援につながらなかったと思う。	・事前に保護者のニーズを再度確認して実施していけるように努めていきます。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	33			3		
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33			3		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29	1		6		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	17		6	12		
	15 必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができていると思いますか。	35		1	2		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	4	1	2	・質問し、しっかり助言をもらっている、頼りにしている。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	34	3			・皆さまにはとても良くしていただいていると思うと同時に感謝の気持ちでいっぱいです。	
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	31	1	1	3	・学校で困りごとが発生し、解決が難しい時に相談し、解決案を提示してくださり、とても助かりました。	
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	35	2				
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	30	2		4	・いつもありがたいです。	
	21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	31	1		5	・話し合いをされて、学校の先生とも状況を共有できていることがわかり安心します。	
22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	35	2			・わかりやすく書類にまとめて下さりありがとうございます。		

非常 時 等 の 対 応	23	定期的に連携やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	1	3	23		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	34			3		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	20	3	1	12		
満 足 度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30	1		5		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	37					
	28	事業所の支援に満足していますか。	32	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTやOTが派遣できるようにしてほしい。日頃から関わりのあるセラピストを派遣してほしい。</li> <li>・回数を増やしてほしい。</li> <li>・相談、アドバイスは本当に助かっております。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広く専門職が対応していけるよう検討していきます。</li> </ul>

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日			令和8年 5月 7日	
児童発達支援センター 監野療育園		利用児童数			61名	36施設 回収数 27
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	24	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・助言は具体的でわかりやすく、授業にすぐに生かせる内容であった。</li> <li>・緩衝材を使用した鉛筆の持ち方等、具体的なことをたくさん教えていただきました。</li> <li>・取り入れやすいものだったので実践している。</li> <li>・大変わかりやすくやってみようと思えるアドバイスです。</li> <li>・それぞれの活動の趣旨がよくわかった。</li> <li>・助言や説明などわかりやすかったが、集団生活の中でのいうところでは取り入れられるのが難しいこともあった。</li> <li>・袋裏や椅子、テーブル等もすぐに対応していただきありがたく思っています。</li> <li>・学校で取り入れやすいことを提案してくださりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、集団での生活を理解し、取り組める内容を提案していけるようにしていきます。</li> </ul>	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	26	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習面、生活面の両面で情報提供をしていただき、満足している。</li> <li>・マッサージの方法など動画や写真などでとらせてもらい、後の指導に活用させてもらっています。</li> <li>・技術を実際にを見せてもらったのはわかりやすくてよかったです。</li> <li>・専門的な視点からご意見がいただけてありがたいです。</li> </ul>		
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	25	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体例を出してわかりやすく教えていただきました。</li> <li>・知りたいことを適切に答えてくれて理解しやすかった。</li> <li>・いつも周りに寄り添って幼児の為に考えながら丁寧に対応してくださいます。</li> <li>・質問に対して誠実に対応してくれた。</li> </ul>		
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	22	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内での対応範囲と療育や家庭と連携すべき部分について整理でき、課題の軽減につながった。</li> <li>・残念ながらすべて解決できていないですし、手探りの状態が続いています。</li> <li>・急ぎよ、座位保持の調整などもして頂いてとても助かりました。</li> <li>・様々な課題があるため、すぐに解決しにくい。</li> <li>・支援の仕方を見たり、聞いたりし解消、軽減されました。</li> <li>・課題を共有し、同じように考えてくださるので、安心につながっています。</li> <li>・作業療法のレパートリーが増えた。</li> <li>・生活の中でできるだけ取り入れていたが、本人の成長と合わせて考えると難しい場面もあった。</li> <li>・各家庭の課題によっては、なかなか解消されないところもあるかと思っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の状況や課題によっては、すぐに解決できないものもあるため、引き続き保護者や所属先の先生と状況を共有して取り組んでいきたいと思えます。</li> </ul>	
5 事業所からの支援に満足していますか。	25	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの希望もあり、専門ではないのでこれで大丈夫かな？と思いながらなので、いろいろ案を教えていただいたり、療育園ではこうしているということも教えていただき、参考になりました。</li> <li>・園での様子を見てもらえる訪問支援は大変参考になり、満足している。</li> <li>・満足しています。</li> </ul>		

<p style="text-align: center;">その他のご意見</p>	<p style="text-align: center;">ご意見を踏まえた対応</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。</li> <li>・発達や個別の支援に関することを療育等の観点からお話を聞くことができ、園での具体的な実践へとつながられ、とても有意義だった。</li> <li>・保護者対応について園と療育施設とが同じ方向をもって対応することができ、信頼関係の構築につながられた。</li> <li>・幼稚園での姿を保護者の方に丁寧に伝えて下さり助かっています。</li> <li>・療育園で取り組まれている内容や方法をご教授いただき、幼稚園での生活に生かすことができいております。</li> <li>・私どもは幼稚園縦わり保育を実施しており、その1クラスに集団生活の雰囲気味わって頂くということで利用してもらっています、利用に際して、その子どものお手伝いの仕方をわかりやすいようにパンフレットみたいにして提供して下さったのでありがたかったです。</li> <li>・今後も専門的な知見を生かした指導・助言をよろしくお願いします。</li> <li>・移動等で介助する側も負担のないような仕方を実際に見せてもらいながら、わかりやすく説明してもらえてよかったです。</li> <li>・幼稚園の生活をわかっていただいた上で具体的にアドバイス下さるので、本当にありがたく思っています。また、幼児への装わりや配慮について「そのままが良い」と言ってもらえると、安心して保育、支援ができ職員にとって心強い存在です。</li> <li>・話し合った内容を両者が同じ捉えになっているのか、文書で確認ができれば、お互いの思い込みのようなことが発生せず保護者の安心につながると思っています。</li> <li>・実際に生徒さんの支援をしながらポイントを説明してくれたのでよくわかりました。</li> <li>・見ていただいている児童の成長がめざましく、日々色々なことができるようになっていきます。そのため、支援方法を考える際に、アドバイスをいただきたい場面がその都度出てくるので、今後も定期的にできれば年に複数回、教えていただける機会があるとありがたいです。</li> <li>・児童の様子を見学に来られましたが、お話しできていないので、どちらともいえません。</li> <li>・食事の形状の相談をはじめ、先天性疾患児の「これから」についても相談させていただけてありがたいです。主に食事の形状の相談が多くをしてくれているため、引き続き相談にのっていただけるとありがたいです。</li> <li>・学校にきていただいて教えていただいたり、連携会議をもっていただいたり、とても心強いです。</li> <li>・実際訪問支援先に見学に行くことでより理解が深まると思いました。</li> <li>・教室でできる課題や体をこら動かしたいなど話をする中で、いろいろなアドバイスをいただき、大変参考になったので、これからも続けていってほしいです。</li> <li>・来ていただいた際になかなか時間がとれず、後日、改めてフィードバックの時間をとっていただけたのがありがたかったです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所属先に先生と共有できるように文書を作成するなど工夫していけるよう取り組んでいきたいと思っております。</li> <li>・引き続き、所属先の先生からのお話を確認しながらすすめていきたいと思っております。また、こちらが訪問させていただいた内容についても丁寧に返信していきたいと思っております。</li> </ul>

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター 荏野療育園				公表日	令和8年5月7日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 ・ 整備 ・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3		・支援グッズは準備しており、必要に応じて訪問時に持参している。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	2	・希望者に対して訪問員が少ない	・利用者の数や訪問頻度など見直ししていく必要がある	
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		3	・ミーティングにて内容を共有していることもあるが、十分ではない	・PDCAサイクルを用いて、業務の見直しをしていく必要がある	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3				
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3				
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	1			
適切な 支援 の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1	2	・職員間で情報を共有するように工夫しているが不十分である	・支援の内容について話し合う時間を取っていく必要がある	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	1	・職員間で情報を共有するように工夫しているが不十分である。	・支援の内容について話し合う時間を取っていく必要がある	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		3	・訪問前に職員間で支援内容、現状の確認、教材等について情報共有しているが十分ではない	・職員間の情報を共有できる方法を検討していく。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		3	・支援後も写真や動画で共有している。そこから新たに支援方法が出れば、訪問先に提案しているが十分ではない。	・職員間での情報共有会議時間を増やしていくよう検討する。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3				
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3					
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3					

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	1		
	24	(自立支援)協議会や子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		3	・家族支援についてまで、十分に支援ができていない。	・市の情報などを集めていく。保護者のニーズを確認し、情報提供をしていく。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		3		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		3		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3			

非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター 藍野療育園		
○保護者評価実施期間	令和8年4月4日		～ 令和8年4月11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	123名	(回答者数) 79名
○従業者評価実施期間	令和8年4月1日		～ 令和8年4月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数) 26名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月30日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	それぞれの専門性を生かした支援を実施している。生活場面や保育場を全体で共有し、それぞれの支援での取り組みに生かしている。子どもの変化を共有し、取り組み内容を変化させている。	子どもの反応を見ながら、ひとりひとりのペースに合わせた関わりを意識的に行っている。 子どもの特性や状況に合わせて、視覚支援や構造化などとりいれている。	職員間だけでなく、保護者様にもしっかりとお子さまの様子を共有する機会を作っており、家族支援にも力を入れていきたい。
2	子どもが安全に楽しく通えるように日々の遊びの内容を考え取り組んでいる。	子どもの身体的な状況や精神面などに合わせた保育内容や取り組み方を工夫している。専門職の知識も取り入れながら、子どもたちが参加しやすい環境調整を行っている。 子どもたちが季節を感じられるように季節に合わせたさまざまな遊びや行事を取り入れている。	さまざまな職員や保護者様からの意見やアイデアを聞きながら、子どもたちがたくさん経験ができるよう取り組んでいきたい。
3	所属先(幼稚園や保育園)と連携し、普段の生活場面を知り、療育を実施している。	所属先(保育所や幼稚園)に迎えに行った際に情報共有をすること。 施設見学を通じて、子どもの様子を共有すること。	所属先(幼稚園や保育園)だけでなく、保護者も通して子どもたちの理解を深めていけるような取り組み(研修会など)企画していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育園で取り組んでいる内容を保護者様と共有が十分にできていない。	保護者様と子どもの様子を共有する時間があってもじっくりと現状や今後についてお話しする時間が十分にとれていない。	懇談会や研修会など実施していき、保護者様の話を聞くこと、こちらの支援内容を伝える時間を設けていく。
2	療育園で取り組んでいるマニュアルや対策などの説明が十分にできていない。	契約時等に十分に説明ができていない。 その他、説明する機会を設けることができていない。	書面で確認するなど、わかりやすく保護者につたわるように取り組んでいく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センター 藍野保育園

公表日 令和8年5月7日

利用児童数

123名

回収数

79名

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	73	3		2	・あまり動けないお子さん、よく動くお子さんが一斉だと確保しづらい感じはします。 ・いつも動き回りたくてハイハイで動き回っていますが、部屋が広いので本人はニコニコしながら動き回るのでありがたいです。	・時間帯によってはスペースの確保が難しい状況もありますが、時間帯を工夫するなど、お子さまそれぞれの様子に合わせて利用していただけるようにしていきたいと思います。
	2 職員の数配置は適切だと思いますか。	66	4	3	6	・1人につき1人付いているのかという印象なのでよく長く見てくるんだなという印象です。 ・足りているときもあれば、足りていないと感じることも多々あります。大変さなどという印象です。	・曜日や時間帯によってスタッフの状況も異なっております。お子さまの安全確保や支援ができるよう取り組んでいきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	63	11	1	5	・机や本棚の配置などについては良くわからないが、各部屋の入り口にマークが付いていたり、段差もなく車椅子やリフトでも入りやすい環境になっていると思うのでバリアフリー化されていると感じています。 ・部屋の名前がわかりにくいので子供が見やすいように大きく貼ったりしてほしい。 ・プログラム表にもOTはこの部屋、STはこの部屋と記載が無く、早く着いたらどこで待っていたらよいかが分からないので、初めて通う方のためにももう少し案内してほしい。 先生が来るまでは机と椅子が無いのでどうしてよいかからず迷ってしまう。	・部屋を固定して決めることが出来ていない状況です。部屋の場所を明確にし、保護者様やお子さまにわかりやすく提示できるように取り組んでいきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	59	11	7	3	・ジョイントマットが古いのか青い粉が衣類や靴下や髪の毛に付いて取れないので新しくしてもらえたらありがたいです。 ・トイレのドアが開けばなしになっている時があるので、そこが少し臭くなります。トイレの近くで給食を食べる時など、衛生的に不安があります。感染症等も流行りやすいと思うので、トイレのドアは閉めることを徹底していただきたいです。 ・全体的に建物が古い、STの部屋でアリアが何匹も入ることがあった。 ・古い建物なので、時々危険じゃないかなと思う箇所があります。 ・天井も部屋も広くて快適ですがジョイントマットが古く清潔感がなく少し心配になります。椅子も補助を工夫されているものが年季が入って黒ずんでいたり何年もそのままかなと感じるので、新しく作り直したり補強をやり直したりあると良いなと思いました。 ・幼児用トイレなど端にホコリが溜まったり、掃除が行き届いてないと感じました。 ・結ったおもちゃなどは消毒しているのは存じていますが、床掃除など毎日掃除していないのかなと思います。なので清潔ではないかと思えます。	・マットについては古いものから履帯に変更させていただきます。 ・こども用トイレのドアについては、すぐに対応させていただきます。 ・アリアについては、随時対応させていただきますが、十分ではなく申し訳ありません。 ・危険な場所や椅子などお子さまが使用する物品については、定期的に職員で見直していきたいと思っております。 ・各部屋やこども用トイレの掃除は毎朝職員で実施しております。また、清掃専門のスタッフもおりトイレや廊下、玄関などの掃除を行っております。ご指摘いただいた箇所だけでなく、施設全体を見直し、掃除の方法についても改善していきたいと思います。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	70	7	1	2	・子供向けの飾り付けやおもちゃがあったりするので子供が興味を持って活動できるようになってると思えます。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	58	2	1	18		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	59	7	1	11	・個々の能力や環境、発達具合を考慮し、対応して頂いているが、どういった目標で支援を行うか、どういった環境での対応を身につけるかなどの設定目標や振り返りがない(1年間を通して保育、リハビリ)ので目標を達成できず、そうでないかの判断がわからない。 ・支援計画書の説明が不十分。	・今後は個別に時間をとり、お子様の現状や経過など振り返るようにしていきたいと考えております。また、保護者と一緒に進められた際には、各担当から様子の共有、取り組み内容の説明を実施させていただきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	52	4	1	22	・成長に合わせた体の動かし方や興味があることを伸ばそうとプログラムを組んでいただいていると思えます。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	58	4	1	16		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	66	6	1	5	・今年度の保育は同じ活動内容が多かったように感じました。昨年度の方が、様々な活動があったように思います。 ・担当者によります。子供が飽きることのないように、内容も工夫しているな、と思う担当者もいれば、毎回同じようなことやってない?と思う担当者もいます。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	42	3	20	15		
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	74	5		1			
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	53	10	7	11			

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	31	12	11	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の所研修会などに参加したことがなく、そういうのがあるのかどうか分かっていません。</li> <li>・情報提供の機会、送迎車の中でしかないので、少し寂しいです。</li> <li>・講習等はなかったと思うが、親子通園の場合開わり方や対応を学べる機会が多い。単独通園の場合も、気になることがあれば相談ができ、十分満足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度は年長児の保護者様に向けた就学に向けての情報交換会の実施になっております。今後はすべての保護者様向けに検討していきたいと考えております。</li> </ul>
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思えますか。	72	7	1			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助産等の支援が行われていますか。	52	13	6	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談等がないので先生とお話しする機会は少ないと感じる</li> <li>・親子通園の場合は毎回親への支援も兼ねていると思っている。単独通園の場合は面接等が定期的にあるわけではないが、子供の相談のため電話した際に親切に相談に乗っていただけたし、助産もいただけて満足している。</li> <li>・通常の保育園や幼稚園などのように、年1回くらいで個人懇談の機会があった方が、色々とお話しできるのではないかと思います。もちろんいつでもこちらから相談すれば親身になって話を聞いてくださいますし、電話相談などもいつでもできますよ、といった話は聞いていますし、相談するとなったらますます現場の負担が増えると思うので、難しいとは思いますが…。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての利用者様に個別での時間を確保できておりません。引き続き、保護者様と通園されたときには、なるべく各担当者から様子をお聞きしたり、お困りごとの確認をしていきたいと思っております。今後は懇談会といった形などについても検討していきたいと思っております。</li> </ul>
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	73	1	1	4		
	18	父甲の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	24	10	22	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その支援に参加してみたい気持ちはありますが、いつ行われているのかわかりず、こんなところがあるのでしょうか？など声掛けて頂きたいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回、きょうだいやご家族様で参加していただけるイベントを企画しております。そこで、普段見ただけではないご家族やきょうだいに園でのお子さま様子をみていただいたり、みなさまで楽しんでいただけるような内容</li> </ul>
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	66	3	2	8		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	69	7	1	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	36	9	7	27		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思えますか。	63	2	2	13		
	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	55	3	3	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスクの着用やアルコール消毒等が重いためので感染対策がしっかりとされているのだと思いました。</li> </ul>
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	57	2	1	19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練が行われていたので単独通園の際に何かあっても安心だと思っております。</li> </ul>	
25		事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	61	2	2	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスでの送迎時、置き去り防止による対策がなされていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎車については、3列シート以上の車には置き去り防止ブザーを車の後方に設置しております。運転手がエンジンを切った後、お子様が降車したか確認後にブザーを止めようとしております。また、単独通園のお子さまについては、到着時に車庫で出席確認をしており、お子さまがバスに置き去りにならないよう対策を</li> </ul>
26		事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	58		1	20		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	76		1	2		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	71	2		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生のごことが大好きで、通園を楽しみにしています。いつもありがとうございます。</li> </ul>	
	29	事業所の支援に満足していますか。	72	6	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育園に通い出してから、子どもがとても成長しました。先生方のお声がけがいつも優しく、寄り添ってくださっていると感じます。不安に思っていることも相談しやすい環境です。とても感謝しております。</li> <li>・通わせていただけてよかったです！親子と右に寄り添っていただけてありがたかったですし、心強かったです。</li> </ul>	

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター 藍野療育園				公表日	令和8年5月7日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	22	4	・部屋数が限られている中で、子どもが課題に取り組みやすいよう、パーテーション等でうまく工夫されている。	・時々、個室が足りないことがある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	20	6			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	23	4		・男女別のトイレが必要。 ・トイレや洗面で車いすのまま使用できる等の改善が必要。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	21	5			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	25	1	・子どもの特性や様子に合わせて使うことができおり、誰が使用するなども工夫できている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	21	5			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	21	4			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	23	3	・小さな気づきもすぐ担当に報告し、相談している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	15	9			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	26				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	24	1			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	26				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	26		・各職種の担当職員が情報を共有し、計画を検討している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	26				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	21	4			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	25	1			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	24	2			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	25	1			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	26			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	24			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	22	4		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	25	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	25	1		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	26			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	26			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	25			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	25			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	16	1		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	16	1		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	14	1		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	12	8		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	24			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	15	9		・園のイベント時などにご家庭に向けた情報発表、発信を行っている。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	24			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	23	1		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	23	1		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	24			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	13	11	・地域の父母の会等の情報を把握し、保護者に掲示等で情報を提供している。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	24			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	16	8		・HPの活用が出来ていないので、発信するツールとして使用していけたらよいと思う。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	22	2		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	24			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	11	13		・行事にて地域にも関わられた企画を検討している。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	20	4		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	21	3		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	24			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	24			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	20	4		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	20	2		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	24			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	25			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	23	1		